

報道発表

令和元年8月21日
名古屋税関
豊橋税関支署

令和元年7月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年7月分について、輸出は「自動車」などが増加したものの、「船舶類」、「金属鉱及びくず」などが減少したことから、対前年同月比1.3%の減少となった。また、輸入は「荷役機械」などが増加したものの、「自動車」、「粗鉱物」などが減少したことから、同3.4%の減少となった。

その結果、差引額は1,897億円（同0.6%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	2,470億円	▲1.3%	573億円	▲3.4%	1,897億円	▲0.6%
	7カ月ぶりの減少		4カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 自動車	2,394億円	+2.9%	輸入	増加品目	(1) 荷役機械	7億円	29倍	
		(2) 鉄鋼	21億円	+13.3%			(2) 建設用・鉱山用機械	2億円	+351.9%	
		(3) その他の化学製品	18億円	+4.9%			(3) 自動車の部分品	3億円	+42.5%	
	減少品目	(1) 船舶類	—	全減		減少品目	(1) 自動車	493億円	▲4.4%	
		(2) 金属鉱及びくず	5億円	▲43.1%			(2) 粗鉱物	0億円	▲96.6%	
		(3) 荷役機械	5億円	▲41.9%			(3) 有機化合物	3億円	▲47.0%	
	地域別動向					地域別動向	西欧、中東欧・ロシア等が減少、アフリカは増加			

（参考）ドルレートは、108.00円（前年同月比2.5%、2.78円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。